

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名		一般国道443号 <small>みつはしせとか</small> 三橋瀬高バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	福岡県
起終点		起点：福岡県柳川市大和町徳益 <small>ふくおか やながわ やまとまちとくます</small> ~ 終点：福岡県みやま市瀬高町下庄 <small>ふくおか せとかまちしものしょう</small>		延長	5.0km		
事業概要 一般国道443号は、福岡県大川市を起点とし、熊本県八代郡氷川町に至る延長139kmの幹線道路であり、一般国道208号と209号を補完し、九州縦貫自動車道南関ICへのアクセス機能を有している。また、熊本県との交流を支え、福岡県南部や熊本県北部の中部有明県際交流圏の産業・文化・経済の発展に寄与する重要な路線である。 三橋瀬高バイパスは、柳川市及びみやま市内の交通混雑を解消し、円滑な交通の確保を図ることを目的とした延長5.0kmの4車線（暫定2車線）道路である。							
H5年度事業化		H 年度都市計画決定 (H 年度変更)		H7年度用地着手		H10年度工事着手	
全体事業費		121億円		事業進捗率	73%	供用済延長	3.6km
計画交通量		17,200台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用：(残事業)/(事業全体) 33/143億円 事業費：28/139億円 維持管理費：4.4/4.4億円		総便益：(残事業)/(事業全体) 144/268億円 走行時間短縮便益：140/261億円 走行費用減少便益：2.4/4.7億円 交通事故減少便益：1.6/2.4億円		基準年： 平成19年	
	(残事業)	1.9		4.4			
事業の効果等 ・交通混雑の解消 ・高速インターチェンジへのアクセス向上							
関係する地方公共団体等の意見 国道443号道路整備促進期成会より、東西交流の幹線道路として、また、高速ICへのアクセス道路として整備促進の要望がなされている。							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 本箇所は、混雑時の旅行速度が福岡県内の平均速度を大きく下回っている状況である。広域交通を担うアクセス道路として、現在、整備が進められている九州自動車道（仮称）瀬高ICと有明海沿岸道路へのアクセス性の向上が期待されている。							
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・事業進捗率：72.7%（工事進捗率：70.6%、用地進捗率：92.8%） ・残事業費：3,318百万円（用地：81百万円、工事：3,237百万円）							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 地権者に対し事業への協力が得られるよう鋭意交渉を行うとともに、計画的な事業進捗を図り、平成23年度完成に努める。							
施設の構造や工法の変更等 有明海沿岸道路とのアクセス向上を図るため、起点位置の変更を行った。							
対応方針		事業継続					
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。							
事業概要図							

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。